

お詫びと訂正

ブティック・ムック no.1732『だれでもカンタン！ ほったらかし菜園』をご購読いただき、誠にありがとうございます。

内容の一部に誤りがあり、読者の皆様には大変ご迷惑をおかけいたしました。

謹んでお詫び申し上げ、下記の通りに訂正させていただきます。

● 35 ページ

「支柱立て」「収穫」の項目の写真に誤りがございました。下記のように訂正させていただきます。

定番夏野菜と組み合わせて！

インゲン

[マメ科]

春 つるが伸びる品種と伸びにくい品種があるため、育てる場所によって品種を選びましょう。つるが伸びる品種は、支柱を設置して上に伸びるようにします。つるなしの品種は、手間をほとんどかけずに育てられるので初心者にもおすすめです。収穫は過熟すると硬くなり風味が落ちるため、最適なサイズになったら獲りどきです。

毎日 水やり

良い 栽培カレンダー



準備

種 培養土 プランター 支柱

インゲンの品種には、つるなし種とつるあり種の2種類があります。つるなし種の場合、長い支柱は必要ないので、初心者におすすめです。つるあり種の場合、支柱が必要なので、深型のプランターを用意しましょう。手間はかかりますが、収穫量は増えます。

種まき



土の表面に浅めの穴をあけ、穴と穴の間隔が20cm前後になるようにする。穴に種をまくが、このとき2〜3粒ずつ種が重ならないようにする。周りの土をかけて軽く押す。

支柱立て



本葉が3〜4枚になったら2本に間引き、支柱を立てる。つるなし種も短い支柱を1本立てておくと、倒状防止になる。

収穫



収穫時期の目安は開花後10〜15日。サヤの長さが10〜15cm程になったら収穫する。病気の発生を防ぐため、ハサミを使用するとよい。

実もの ミニカボチャ／インゲン